

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2023・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査中
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	C O V I D - 1 9										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	エンシトレルビル フ マル酸/ゾコーバ	375mg			経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-COV- 2感染症)		不明			
	アンプロキシール塩酸 塩				不明	C O V I D - 1 9 (SA RS-COV- 2感染症)		不明			
	デカリニウム塩化物/ S P				不明	C O V I D - 1 9 (SA RS-COV- 2感染症)		不明			
	トラネキサム酸				不明	C O V I D - 1 9 (SA RS-COV- 2感染症)		不明			
副作用/有害事象 (発現日)	アナフィラキシー反応										
併用薬	ポビドンヨード										

報告年度・四半期	2023・第四	種類	自発報告	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	不明	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	糖尿病						高血圧				
	痛風						インフルエンザ				

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

2ページ

被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アンブロキシール塩酸 塩/ムコサル	45mg	20231102	20231102	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ)		投与中止	アナフィラキシー ショック（再投与 なし）	
			不明	不明	経口					
	アセトアミノフェン/ カロナール	1800mg	20231102	20231102	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ)		投与中止	アナフィラキシー ショック（再投与 なし）	
			不明	不明	経口					
	トラネキサム酸	1500mg	20231102	20231102	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ)		投与中止	アナフィラキシー ショック（再投与 なし）	
			不明	不明	経口					
副作用/有害事象 （発現日）	アナフィラキシーショック(不明)									
併用薬	BILASTINE					TOPIROXOSTAT				
	AMLODIPINE BESILATE, HYDROCHLOROTHIAZIDE, TELMISARTAN					POTASSIUM CITRATE, SODIUM CITRATE DIHYDRATE				

報告年度・四半期	2023・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	僧帽弁置換						発熱				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アセトアミノフェン					経口	発熱(発熱)		不明		
	アモキシシリン水和物					経口	発熱(発熱)		不明		
	トラネキサム酸					経口	発熱(発熱)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	ステイーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2023・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長	170cm台	体重	70kg台	転帰	未回復		
原疾患等	C O V I D - 1 9						脂質代謝障害				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	エンシトレルビル フ マル酸/ゾコーバ	375mg	20230911	20230911	経口	C O V I D - 1 9 (新型 コロナウイ ルス感染症)		投与中止	筋力低下（再投与 なし）、感覚鈍麻 （再投与なし）		
		125mg	20230912	20230912	経口						
	オロパタジン塩酸塩	5mg	20230911	20230912	経口	C O V I D - 1 9 (新型 コロナウイ ルス感染症)		投与中止			
	トラネキサム酸	250mg	20230911	20230912	経口	C O V I D - 1 9 (新型 コロナウイ ルス感染症)		投与中止			
	ビフィズス菌製剤（ 4 ）/ラックビー	1{DF}	20230911	20230912	経口	C O V I D - 1 9 (新型 コロナウイ ルス感染症)		投与中止			
	鎮咳配合剤（ 1 ）/フ スコデ	3.3mL	20230911	20230912	経口	C O V I D - 1 9 (新型 コロナウイ ルス感染症)		投与中止			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

4ページ

	ロキソプロフェンナトリウム水和物/ロキソニン	60mg	20230911	20230912	経口	C O V I D - 1 9 (新型コロナウイルス感染症)		投与中止		
	ロスバスタチンカルシウム/ロスバスタチン			20230912	経口	脂質代謝障害(脂質代謝異常)		投与中止		
副作用/有害事象 （発現日）	筋力低下(20230912)					感覚鈍麻(20230912)				
併用薬										

報告年度・四半期	2023・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	腰部脊柱管狭窄症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セファゾリンナトリウム					不明			投与中止		
	トラネキサム酸					不明			投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	アナフィラキシー反応										
併用薬	ロクロニウム臭化物						スガマデクスナトリウム				

報告年度・四半期	2023・第二	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別	女	年代	40歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	回復		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					経口			不明		
副作用/有害事象 (発現日)	血栓症										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

併用薬											
報告年度・四半期	2023・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	エンシトレルビル フ マル酸/ゾコーバ	375mg	20230622	20230622	経口	C O V I D - 1 9 (CO VID-19感 染)		非該当	肝機能異常（再投 与なし）		
		125mg	20230623	20230626	経口						
	トラネキサム酸	500mg	20230622	20230626	経口	喉頭炎(喉 頭炎)		非該当			
	L - カルボシステイン	500mg	20230622	20230626	経口	気管支炎(急性気管支 炎)		非該当			
	アモキシシリン水和物 /サワシリン	250mg	20230622	20230626	経口	気管支炎(急性気管支 炎)		非該当			
	アモキシシリン水和物 ・クラブラン酸カリウ ム/オーグメンチン	375mg	20230622	20230626	経口	気管支炎(急性気管支 炎)		非該当			
	デキストロメトルファ ン臭化水素酸塩水和物 /メジコン	30mg	20230622	20230626	経口	気管支炎(急性気管支 炎)		非該当			
	耐性乳酸菌製剤（ 3 ） /ピオフェルミン R	6mg	20230622	20230626	経口	下痢(抗生 剤使用に伴 う下痢)		非該当			
副作用/有害事象 （発現日）	肝機能異常(20230704)										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2023・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	30歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	子宮内膜症						腺筋症				
	上咽頭炎						咳嗽				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ジェノゲスト	1mg	20230708	20230708	経口	子宮内膜症 (卵巣子宮 内膜のう胞)、腺筋症(子宮腺筋症)		投与中止	アナフィラキシー ショック（再投与 なし）、眼充血（ 再投与なし）、呼 吸困難（再投与な し）、蕁麻疹（再 投与なし）		
	デキストロメトルファ ン臭化水素酸塩水和物 /メジコン				経口	上咽頭炎(感冒)、咳 嗽(咳)		不明			
	トラネキサム酸				不明	上咽頭炎(感冒)		不明			
副作用/有害事象 （発現日）	アナフィラキシーショック(20230708)					眼充血(20230708)					
	呼吸困難(20230708)					蕁麻疹(20230708)					
併用薬											

報告年度・四半期	2023・第二	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セフジニル					不明	適応症不明 の製品使用		不明		
	L - カルボシステイン					不明	適応症不明 の製品使用 (DRUG U SE FOR		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						UNKNOWN INDICATION)				
	トラネキサム酸				不明	適応症不明の製品使用 (DRUG USE FOR UNKNOWN INDICATION)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	男	年代	50歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	硬膜下血腫						アルコール摂取				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg			経口	硬膜下血腫 (外傷性硬 膜下血腫)		投与中止	肺塞栓症（再投与 なし）	
副作用/有害事象 （発現日）	肺塞栓症(20230905)										
併用薬	五苓散										

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医師;薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重	50kg台	転帰	回復		
原疾患等	インフルエンザ										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	バロキサビル マルボ キシル/ゾフルーザ	20mg	20231129	20231129	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ A型)		非該当	蕁麻疹（再投与なし）	
	トラネキサム酸	250mg	20231129	20231203	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ A型)		投与量変更 せず		
	アンプロキシール塩酸 塩/ムコサル	15mg	20231129	20231203	経口	インフルエ ンザ(イン フルエンザ A型)		投与量変更 せず		
	ツロブテロール	2mg	20231129	20231203	経皮	インフルエ ンザ(イン フルエンザ A型)		投与量変更 せず		
副作用/有害事象 （発現日）	蕁麻疹(20231129)									
併用薬										

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	発熱						意識変容状態				
	腎機能障害										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					経口	発熱(40 の発熱)		不明		
	アモキシシリン水和物					経口	発熱(40 の発熱)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	アセトアミノフェン				経口	発熱(40 の発熱)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	発熱										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					経口	発熱(40 の発熱)		不明		
	アセトアミノフェン					経口	発熱(40 の発熱)		不明		
	アモキシシリン水和物					経口	発熱(40 の発熱)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	発熱										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					経口			不明		
	アモキシシリン水和物					経口			不明		
	アセトアミノフェン					経口			不明		
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

10ページ

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	50歳代	身長		体重	80kg台	転帰	死亡		
原疾患等	高血圧										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロサルタンカリウム/ ニューロタン			不明		経口			不明	中毒性表皮壊死融 解症（再投与なし ）	C
	アセトアミノフェン			不明					不明		C
	トラネキサム酸			不明					不明		C
副作用/有害事象 （発現日）	中毒性表皮壊死融解症(不明)										
併用薬											

報告年度・四半期	2023・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	口腔咽頭痛										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					経口	口腔咽頭痛 (咽頭痛)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	急性汎発性発疹性膿疱症										
併用薬	UNKNOWNDRUG										

報告年度・四半期	2023・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	死亡		
原疾患等	大動脈瘤										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		250mg	20221110	20221204				非該当		C

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

11ページ

副作用/有害事象 （発現日）	播種性血管内凝固				肺炎			
併用薬								

報告年度・四半期	2022・第四	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	30歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	非ピリン系感冒剤（４）/ P L					不明			不明		
	L - カルボシステイン					不明			不明		
	アセトアミノフェン/ カロナール					不明			不明		
	トラネキサム酸					不明			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	中毒性皮疹					肝機能異常					
併用薬											

報告年度・四半期	2022・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	C O V I D - 1 9										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アセトアミノフェン				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明			
	L - カルボシステイン				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	フェキソフェナジン塩酸塩				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明		
	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明		
	チペピジンヒベンズ酸塩				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明		
	トラネキサム酸				経口	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV-2 感染症)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					不明			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	急性汎発性発疹性膿疱症										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2022・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸								不明		
副作用/有害事象 （発現日）	急性汎発性発疹性膿疱症										
併用薬											

報告年度・四半期	2022・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	60歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	メトトレキサート/メ ソトレキセート	6mg			経口	スチル病(Adult-ons et Stills disease)		不明			
	メチルプレドニゾン コハク酸エステルナト リウム/ソル・メドロ ール	1g			静脈内（ 明記され ていない 場合）	スチル病(Adult-ons et Stills disease)		不明			
		1g			静脈内（ 明記され ていない 場合）						
		1g			静脈内（ 明記され ていない 場合）						
	トラネキサム酸					発熱(fever)、紅斑(er		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						ythema)				
	プレドニゾロン	45mg			経口	スチル病(Adult-ons et Stills disease)		不明		
	バルガンシクロビル塩酸塩					サイトメガロウイルス感染(CMV infection)		不明		
	シクロスポリン	150mg				スチル病(Adult-ons et Stills disease)		不明		
		300mg			経口					
	コルヒチン	1.5mg				スチル病(Adult-ons et Still disease)		減量		
		.5mg								
副作用/有害事象 （発現日）	未承認適応に対する薬効欠如					適応外使用				
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	60歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	C O V I D - 1 9										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	モルヌピラビル/ラゲ ブリオ		1600mg	20220802	20220802	経口	C O V I D - 1 9 治療(SARS-Co V-2による 感染症)		投与中止	水疱性皮膚炎（再 投与なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	葛根湯		不明		経口			不明		
	トラネキサム酸		不明		経口			不明		
			202208		経口					
副作用/有害事象 （発現日）	水疱性皮膚炎(20220802)									
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別	女	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	スティーヴンス・ジョンソン症候群						中毒性表皮壊死融解症				
	粘膜類天疱瘡										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アセトアミノフェン				不明	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群、中毒性 表皮壊死融 解症		投与中止			
	プレドニゾロン	60mg			経口	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群、中毒性 表皮壊死融 解症		不明			
	セフカペン　ピボキシ ル塩酸塩水和物				不明	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群(STEV ENS-JOH NSON SY NDROME) 、中毒性表		投与中止			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						皮壊死融解症(TOXIC EPIDERMAL NECROLYSIS)				
	トラネキサム酸				不明	スティーヴンス・ジョンソン症候群(STEVENS-JOHNSON SYNDROME)、中毒性表皮壊死融解症(TOXIC EPIDERMAL NECROLYSIS)		投与中止		
	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	1000mg			静脈内（明記されていない場合）	スティーヴンス・ジョンソン症候群(STEVENS-JOHNSON SYNDROME)、中毒性表皮壊死融解症(TOXIC EPIDERMAL NECROLYSIS)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						IS)				
副作用/有害事象 （発現日）	粘膜類天疱瘡									
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快	
原疾患等	スティーヴンス・ジョンソン症候群					中毒性表皮壊死融解症				
	粘膜類天疱瘡									
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アセトアミノフェン				不明	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群、中毒性 表皮壊死融 解症		投与中止		
	プレドニゾロン	60mg			経口	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群(STEV ENS-JOH NSON SY NDROME) 、中毒性表 皮壊死融解 症(TOXI C EPIDE RMAL NE CROLYS IS)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物				不明	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群(STEV ENS-JOH NSON SY NDROME) 、中毒性表 皮壊死融解 症(TOXI C EPIDE RMAL NE CROLYS IS)		投与中止		
	トラネキサム酸				不明	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群(STEV ENS-JOH NSON SY NDROME) 、中毒性表 皮壊死融解 症(TOXI C EPIDE RMAL NE CROLYS IS)		投与中止		
	メチルプレドニゾン コハク酸エステルナト リウム	1000mg			静脈内（ 明記され ていない 場合）	スティーヴ ンス・ジョ ンソン症候 群(STEV ENS-JOH		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						NSON SY NDROME) 、中毒性表 皮壊死融解 症(TOXI C EPIDE RMAL NE CROLYS IS)				
副作用/有害事象 （発現日）	粘膜類天疱瘡									
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	粘膜類天疱瘡						スティーヴンス・ジョンソン症候群				
	中毒性表皮壊死融解症						S J S - T E Nオーバーラップ				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	セフカペン　ピボキシ ル塩酸塩水和物				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		投与中止	状態悪化（不明） 、粘膜類天疱瘡（ 不明）		
	アセトアミノフェン				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		投与中止	状態悪化（不明） 、粘膜類天疱瘡（ 不明）		
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使		投与中止			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						用)				
副作用/有害事象 （発現日）	状態悪化					粘膜類天疱瘡				
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	粘膜類天疱瘡						スティーヴンス・ジョンソン症候群				
	中毒性表皮壊死融解症						S J S - T E Nオーバーラップ				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アセトアミノフェン				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		投与中止	状態悪化（不明） 、粘膜類天疱瘡（不明）		
	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		投与中止	状態悪化（不明） 、粘膜類天疱瘡（不明）		
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	状態悪化					粘膜類天疱瘡					
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

21ページ

報告年度・四半期	2022・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	50歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	狭心症						高血圧				
	原発性アルドステロン症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アムロジピンベシル酸 塩/アムロジピン							不明			
	プラバスタチンナトリ ウム/プラバスタチン N a 塩							不明			
	ピリドスチグミン臭化 物							不明			
	アスピリン/バイアス ピリン							不明			
	ランソプラゾール							不明			
	ドキサゾシンメシル酸 塩/カルデナリン							不明			
	トラネキサム酸							不明			
副作用/有害事象 (発現日)	中毒性表皮壊死融解症										
併用薬	プレドニゾロン										

報告年度・四半期	2022・第三	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	50歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー						てんかん				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	カルバマゼピン/テグ レトール		400mg	1973	20221009	経口	てんかん(てんかん)		投与中止	薬疹（再投与なし ）	
				20221010	20221011	経口					
		トラネキサム酸		750mg	20221006	20221009	経口	口腔咽頭痛 (咽頭痛)		投与中止	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

22ページ

副作用/有害事象 （発現日）	薬疹(20221009)	
併用薬	ロキソプロフェンナトリウム水和物	
	レバミピド	
	センノシド	
	メコバラミン	
	ウルソデオキシコール酸	

報告年度・四半期	2022・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長	160cm台	体重	40kg台	転帰	軽快		
原疾患等	C O V I D - 1 9										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	エンシトレルビル フ マル酸/ゾコーバ	375mg	20221207	20221207	経口	C O V I D - 1 9 (CO VID-19)		投与中止			
	トラネキサム酸	250mg	20221205	20221207	経口	C O V I D - 1 9 (CO VID-19)		不明			
	エブラジノン塩酸塩/ レスブレン	20mg	20221207	20221207	経口	C O V I D - 1 9 (CO VID-19)		不明			
	メキタジン	3mg	20221207	20221207	経口	C O V I D - 1 9 (CO VID-19)		不明			
副作用/有害事象 (発現日)	アナフィラキシー反応(20221207)										
併用薬											

報告年度・四半期	2022・第三	種類	試験	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

23ページ

被疑薬に関する情報	一般名/販売名	一回投与量	投与開始日	投与終了日	投与経路	適用理由	要指導/リスク区分	被疑薬の処置	再投与による再発の有無	評価
	プレドニゾロン	5mg	20191010	20191106		関節リウマチ		投与量変更せず		
		4mg	20191107	20200205						
		2mg	20200206	20200916						
		1mg	20200917	20201111						
		2mg	20201112	20210616						
		3mg	20210617							
	サリルマブ（遺伝子組換え）/ケブザラ	200mg	20220418	20220906		関節リウマチ		投与中止		
	セレコキシブ	400mg	20191010	20200107		関節リウマチ		投与量変更せず		
		200mg	20200108	20210929						
		400mg	20210930							
	タクロリムス水和物	1.5mg	20201217	20210324		関節リウマチ		投与量変更せず		
		2mg	20210325	20210713						
		3mg	20210714							
	ボノプラザンフマル酸塩							不明		
	トラネキサム酸							不明		
副作用/有害事象（発現日）	大腸穿孔(20220905)									
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第三	種類	試験	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	関節リウマチ						骨粗鬆症				
	血管腫										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	サリルマブ（遺伝子組 換え）/ケブザラ		200mg	20220418	20220906	皮下	関節リウマ チ(関節リ ウマチ)		投与中止	大腸穿孔（再投与 なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	2456001	5mg	20191010	20191106	経口	関節リウマチ(関節リウマチ)		投与量変更せず	大腸穿孔（再投与なし）	
		4mg	20191107	20200205	経口					
		2mg	20200206	20200311	経口					
		2mg	20200312	20200916	経口					
		1mg	20200917	20201111	経口					
		2mg	20201112	20210616	経口					
		3mg	20210617	不明	経口					
	セレコキシブ	400mg	20191010	20200107	経口	関節リウマチ(関節リウマチ)		投与量変更せず	大腸穿孔（再投与なし）	
		200mg	20200108	20210929	経口					
		400mg	20210930	不明	経口					
	タクロリムス水和物	1.5mg	20201217	20210324	経口	関節リウマチ(関節リウマチ)		投与量変更せず		
		2mg	20210325	20210713	経口					
		3mg	20210714	不明	経口					
	ボノブラザンフマル酸塩		不明	不明	経口	胃食道逆流性疾患(逆流性食道炎)		不明		
			20221027	不明	経口					
	トラネキサム酸	250mg	不明		経口	咽頭炎(咽頭炎)		投与量変更せず	大腸穿孔（再投与なし）	
副作用/有害事象（発現日）		大腸穿孔(20220905)								
併用薬										

報告年度・四半期	2022・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	20歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	咽頭炎						インフルエンザ				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸			20190206	20190208	経口	咽頭炎(咽 頭炎)		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	薬疹(20190208)										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

併用薬		アセトアミノフェン				ラニナミビルオクタン酸エステル水和物						
報告年度・四半期		2022・第一	種類	自発報告	報告職種	薬剤師		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別		女	年代	30歳代	身長	160cm台	体重	40kg台	転帰	回復		
原疾患等		咽頭の炎症					発熱					
被疑薬に関する 情報		一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
		セフカペン　ピボキシ ル塩酸塩水和物			20220508	202205	経口	喉頭の炎症 (のどの炎 症)、発熱(微熱)		不明	横紋筋融解症（有 ）	
		トラネキサム酸			20220508	202205	経口	喉頭の炎症 (のどの炎 症)、発熱(微熱)		不明		
		クエン酸カリウム・ク エン酸ナトリウム水和 物/ウラリット					経口			不明		
副作用/有害事象 （発現日）		横紋筋融解症(20220513)										
併用薬												

報告年度・四半期	2022・第一	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	新生児	身長	40cm台	体重	10kg未満	転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ソトロビマブ（遺伝子 組換え）/ゼビュディ		500mg	20220212		経胎盤	C O V I D - 1 9 (SA RS-CoV 2 による感染症)		非該当	頻呼吸（再投与なし）、感染（再投 与なし）	

症例一覽

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

26ページ

	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物/メジコン	45mg	20220213	20220221	経胎盤	咳嗽(咳)		非該当		
	トラネキサム酸	1500mg	20220214	20220219	経胎盤	口腔咽頭痛(咽頭痛)		非該当		
	クエン酸第一鉄ナトリウム	100mg	20220225	20220310	経胎盤	貧血(貧血)		非該当		
	酸化マグネシウム	990mg	20220225		経胎盤	便秘(便秘)		非該当		
副作用/有害事象 (発現日)	頻呼吸(20220322)					感染(20220322)				
併用薬	メナテトレノン					ブドウ糖				
	メナテトレノン									

報告年度・四半期	2022・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	不明	年代	小児	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セフカペン　ピボキシ ル塩酸塩水和物/フロ モックス小児用：細粒					経口			不明		
	トラネキサム酸					経口			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	アナフィラキシー反応										
併用薬											

報告年度・四半期	2021・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

27ページ

被疑薬に関する情報	一般名/販売名	一回投与量	投与開始日	投与終了日	投与経路	適用理由	要指導/リスク区分	被疑薬の処置	再投与による再発の有無	評価
	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物							不明		
	トラネキサム酸							不明		
副作用/有害事象（発現日）	アナフィラキシーショック									
併用薬	ロキソプロフェンナトリウム水和物					セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物				

報告年度・四半期	2021・第二	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	30歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	腹痛						発疹				
	そう痒症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン	1500mg	20210225	20210225	経口	扁桃炎(扁桃炎)		投与中止	腹痛（再投与なし）、発疹（再投与なし）、そう痒症（再投与なし）		
	トラネキサム酸	1500mg	20210225	20210225	経口	扁桃炎(扁桃炎)		投与中止	腹痛（再投与なし）、発疹（再投与なし）、そう痒症（再投与なし）		
	アセトアミノフェン	1200mg	20210225	20210225	経口	扁桃炎(扁桃炎)		投与中止			
	レバミピド		20210225	20210225	経口	扁桃炎(扁桃炎)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	腹痛(20210224)						発疹(20210224)				
	そう痒症(20210224)										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2021・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	双極性障害						アルコール摂取				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ラモトリギン		25mg	20190604	20190616	経口	双極性障害 (双極性感 情障害)		投与中止		
	イブプロフェン			20190617		経口			不明		
	ラフチジン			20190617		経口			不明		
	レバミピド			20190617		経口			不明		
	トラネキサム酸			20190617		経口			不明		
	クラリスロマイシン			20190617		経口			不明		
副作用/有害事象 (発現日)	発疹(20190616)					発熱(20190616)					
併用薬											

報告年度・四半期	2021・第二	種類	自発報告	報告職種	消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	不明	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	トラネキサム酸/トラ ネキサム酸：シロップ				経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		不明			
	L - カルボシステイン				経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	アナフィラキシー反応(2021)	発熱(2021)
	嘔吐(2021)	下痢(2021)
	発疹(2021)	
併用薬		

報告年度・四半期	2021・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;医療関係者		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	クラリスロマイシン	200mg	20201030	20201103	経口	感染予防(感染予防)		投与中止			
	非ピリン系感冒剤（4 ）/ピーエイ		20201030	20201103	経口	解熱処置(解熱、鎮痛)、鎮痛療 法(解熱、 鎮痛)		投与中止			
	L - カルボシステイン	500mg	20201030	20201103	経口	消炎療法(消炎)		投与中止			
	トラネキサム酸	250mg	20201030	20201103	経口	消炎療法(消炎)		投与中止			
	アセトアミノフェン/ カロナール	300mg			経口	鎮痛薬投与 による補助 療法(消炎 鎮痛)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	多形紅斑										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

30ページ

報告年度・四半期	2021・第二	種類	自発報告	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	80歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	死亡		
原疾患等	高血圧						腎不全				
	変形性脊椎症						鼻炎				
	口腔咽頭痛						咳嗽				
	湿性咳嗽										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン				不明	鼻炎、咳嗽 、口腔咽頭 痛、湿性咳 嗽		非該当		C	
	トラマドール塩酸塩・ アセトアミノフェン配 合剤	1{DF}			経口	変形性脊椎 症(LUMB AR SPON DYLOSI S)		非該当		C	
	トラネキサム酸				不明	鼻炎(RHI NITIS) 、口腔咽頭 痛(SORE THROAT)		非該当		C	
副作用/有害事象 (発現日)	低血糖						心停止				
	意識消失										
併用薬	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物										

報告年度・四半期	2021・第三	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	80歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	未回復		
原疾患等	高血圧					脂質異常症					
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg	20210928	20210928	経口	口腔咽頭痛 (喉の痛み)		投与中止	蕁麻疹（再投与なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	アセトアミノフェン	1200mg	20210928	20210928	経口	口腔咽頭痛 (喉の痛み)		投与中止	蕁麻疹（再投与なし）	
副作用/有害事象 （発現日）	蕁麻疹(20210928)									
併用薬	ビフィズス菌製剤（１）					テプレノン				
	葛根湯加川きゅう辛夷					セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物				
	メトクロプラミド					ドキサゾシンメシル酸塩				

報告年度・四半期	2021・第三	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	80歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	末期腎疾患						腎性貧血				
	高血圧						脂質異常症				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ダプロデュスタット/ ダーブロック	4mg	20210201		経口	腎性貧血(腎性貧血)		投与中止	肺塞栓症（再投与 なし）、呼吸困難 （再投与なし）、 肺高血圧症（再投 与なし）、静脈塞 栓症（再投与なし ）、腎機能障害（ 再投与なし）		
		6mg	2021	20211101	経口						
	トラネキサム酸								不明		
副作用/有害事象 （発現日）	肺塞栓症(20211101)						呼吸困難(20211101)				
	肺高血圧症(20211101)						静脈塞栓症				
	腎機能障害										
併用薬	アムロジピンベシル酸塩						フロセミド				
	フェブキソスタット						ワルファリンカリウム				
	ロサルタンカリウム						アトルバスタチンカルシウム水和物				
	クエン酸第一鉄ナトリウム						エルデカルシトール				

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

32ページ

報告年度・四半期	2021・第一	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	レバミピド/レバミピ ド*大塚工場								投与中止		
	アモキシシリン水和物								投与中止		
	トラネキサム酸								投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	アナフィラキシー反応(20210326)										
併用薬											

報告年度・四半期	2020・第四	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	80歳代	身長	140cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	硬膜下血腫										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	五苓散/ツムラ五苓散 エキス顆粒（医療用）	7.5g	20200601	20200608	経口	浮腫(浮腫)		投与中止	肝機能異常（再投 与なし）		
	カルバゾクロムスルホ ン酸ナトリウム水和物 /カルバゾクロムスル ホン酸N a	90mg	20200601	20200608	経口	出血性素因 (出血傾向)		投与中止			
	トラネキサム酸	750mg	20200601	20200608	経口	出血性素因 (出血傾向)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	肝機能異常(20200608)										
併用薬	酢酸リンゲル液（ブドウ糖加）（2 - 2）					アトルバスタチンカルシウム水和物					
	アロプリノール					ランソプラゾール					
	シルニジピン					フロセミド					
	レベチラセタム					アピキサバン					
	ベラパミル塩酸塩					ビソプロロールフマル酸塩					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2020・第四	種類	その他	報告職種	薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	80歳代	身長	140cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	硬膜下血腫										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	五苓散/ツムラ五苓散 エキス顆粒（医療用）	7.5g	20200601	20200608	経口	浮腫(浮腫)		投与中止	肝機能異常（再投 与なし）		
	カルバゾクロムスルホ ン酸ナトリウム水和物 /カルバゾクロムスル ホン酸N a	90mg	20200601	20200608	経口	出血性素因 (出血傾向)		投与中止			
	トラネキサム酸	750mg	20200601	20200608	経口	出血性素因 (出血傾向)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	肝機能異常(20200608)										
併用薬	レベチラセタム					ビソプロロールフマル酸塩					
	アピキサバン					酢酸リンゲル液（ブドウ糖加）（2 - 2）					
	アトルバスタチンカルシウム水和物					アロプリノール					
	ランソプラゾール					シルニジピン					
	フロセミド					ベラパミル塩酸塩					

報告年度・四半期	2020・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長	160cm台	体重	50kg台	転帰	回復		
原疾患等	アレルギー性鼻炎					過敏症					
	ダニアレルギー					季節性アレルギー					
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	組換え沈降4価ヒトパ ピローマウイルス様粒 子ワクチン（酵母由来 ）/ガーダシル		.5mL	20210120		筋肉内	予防(予防)		非該当	白血球数減少（再 投与なし）、血小 板数減少（再投与 なし）、発熱（再 投与なし）、嘔吐	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

									(再投与なし)、 下痢(再投与なし)、 発熱(再投与なし)、 下痢(再投与なし)	
	組換え沈降4価ヒトパ ピローマウイルス様粒 子ワクチン(酵母由来) /ガーダシル	.5mL	20201116		筋肉内	予防(予防)		非該当	白血球数減少(再 投与なし)、血小 板数減少(再投与 なし)、発熱(再 投与なし)、嘔吐 (再投与なし)、 下痢(再投与なし)、 発熱(再投与 なし)、下痢(再 投与なし)	
	フェキソフェナジン塩 酸塩	120mg	20210122		経口	アレルギー 性鼻炎(ア レルギー性 鼻炎治療)		不明		
	アセトアミノフェン/ カロナール		20210122		経口	解熱処置(解熱)、鎮 痛療法(鎮 痛)		不明		
	トラネキサム酸	750mg	20210122	20210126	経口	消炎療法(消炎)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	白血球数減少(20210301)					血小板数減少(20210301)				
	発熱(20210121)					嘔吐(20210122)				
	下痢(20210122)					発熱(20210228)				
	下痢(20210301)									
併用薬										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）									
	シタグリプチンリン酸 塩水和物									
	硫酸マグネシウム水和 物									
	アムホテリシン B									
	ポリコナゾール									
	ミコフェノール酸 モ フェチル									
	エンテカビル水和物									
副作用/有害事象 （発現日）	血中アルカリホスファターゼ増加						血中クレアチニン増加			
	血中尿素増加						急性心不全			
	γ - グルタミルトランスフェラーゼ増加						血栓性微小血管症			
	体重増加									
併用薬										

報告年度・四半期	2020・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	急性骨髄性白血病										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	フロセミド/ラシックス			不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	レボフロキサシン水和物			不明	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	食道炎（再投与なし）	
	トラネキサム酸			不明	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不		不明	食道炎（再投与なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
	メスナ		不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	シクロホスファミド水和物		不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	ヒドロコルチゾン酢酸エステル		不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	ウルソデオキシコール酸		不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	アシクロビル		不明	不明	不明			不明	食道炎（再投与なし）	
	センブリ		不明	不明	不明			不明		
	アプレピタント		不明	不明	不明			不明		
	グラニセトロン塩酸塩/グラニセトロン		不明	不明	不明			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	食道炎(不明)									
併用薬	LANSOPRAZOLE					OMEPRAZOLE				
	VONOPRAZAN					CASPOFUNGIN				
	ITRACONAZOLE					LETTERMOVIR				
	MEROPENEM					PENTAMIDINE				
	SULFAMETHOXAZOLE, TRIMETHOPRIM					PIPERACILLIN SODIUM, TAZOBACTAM SODIUM				
	TEICOPLANIN					VALACICLOVIR				
	VANCOMYCIN					DOMPERIDONE				
	METOCLOPRAMIDE					PROCHLORPERAZINE				
	DEXAMETHASONE					METHOTREXATE				
	TACROLIMUS					GEMTUZUMAB OZOGAMICIN				
	ACETAMINOPHEN					BROTIZOLAM				
	CARBAZOCHROME					CLOSTRIDIUM BUTYRICUM				
	DALTEPARIN SODIUM					CHLORPHENIRAMINE [CHLORPHENAMINE]				
	FENTANYL					HAPTOGLOBINS				
	HERBAL EXTRACT NOS, MEPYRAMINE MALEATE, PHENIRAMINE					MAIDROXYLINE, N-ETHYLPROPANOLAMINE, PHENYLTOLOXAMINE CITRATE				

症例一覽

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

38ページ

	LENOGRASTIM	LOPERAMIDE
	MAGNESIUM SULFATE	MOSAPRIDE
	NICARDIPINE	POTASSIUM CHLORIDE

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	軽快		
原疾患等	大動脈瘤破裂						アルコール摂取				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg	20201109	20201113	経口	予防(エンド ドリーク予 防)		投与中止	痙攣発作(再投与 なし)	
副作用/有害事象 (発現日)	痙攣発作(20201114)										
併用薬	エソメプラゾールマグネシウム水和物						ピソプロロールフマル酸塩				
	アミオダロン塩酸塩						エゼチミブ				
	ピタバスタチンカルシウム						レボチロキシナトリウム水和物				
	シロドシン						オルメサルタン メドキシミル				
	炭酸ランタン水和物						メロペネム水和物				
	ダブトマイシン										

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	60歳代	身長	150cm台	体重	50kg台	転帰	回復		
原疾患等	高血圧					甲状腺機能低下症					
	非タバコ使用者										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	レゴラフェニブ水和物 /スチバーガ		20201111	20201113		遠隔転移を 伴う結腸癌 (治癒切除 不能な進行 ・再発の結 腸・直腸癌		投与中止			
			20201115	20201117							

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						)				
	アムロジピンベシル酸塩/アムロジピン		20201111	20201118	経口	高血圧(高血圧の予防)		不明		
	トラネキサム酸		20201114	20201118	経口	月経中間期出血(不正子宮出血)		不明		
	水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム/マーロックス		20201114	20201118	経口	上腹部痛(心窩部痛)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	肝機能検査異常(20201118)					血中ビリルビン増加(20201118)				
	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加(20201118)					アラニンアミノトランスフェラーゼ増加(20201118)				
	血中アルカリホスファターゼ増加(20201118)									
併用薬	アゾセミド					レボチロキシナトリウム水和物				
	ボノプラザンフマル酸塩					ラクトミン				
	酪酸菌製剤					パンクレリパーゼ				

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	上咽頭炎						乾癬				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セフジニル					経口	上咽頭炎(感冒症状)		投与中止		
	トラネキサム酸					経口	上咽頭炎(感冒症状)		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	多形紅斑										
併用薬	UNKNOWNDRUG						アセトアミノフェン				
	シクロスポリン						カルシポトリオール水和物・ベタメタゾンジプロピオン酸エステル				

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	上咽頭炎						乾癬				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸					不明	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
	セフジニル					不明	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	膿疱性乾癬										
併用薬	UNKNOWNDRUG						シクロスポリン				
	カルシポトリオール						ベタメタゾンジプロピオン酸エステル				

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	上咽頭炎						乾癬				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セフジニル					経口	上咽頭炎(感冒)		不明		
	トラネキサム酸					経口	上咽頭炎(感冒)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	膿疱性乾癬										
併用薬	シクロスポリン						カルシポトリオール水和物・ベタメタゾンジプロピオン酸エステル				

報告年度・四半期	2020・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	乾癬										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

41ページ

被疑薬に関する情報	一般名/販売名	一回投与量	投与開始日	投与終了日	投与経路	適用理由	要指導/リスク区分	被疑薬の処置	再投与による再発の有無	評価
	トラネキサム酸				経口			不明		
副作用/有害事象（発現日）	膿疱性乾癬									
併用薬	シクロスポリン					カルシポトリオール水和物・ベタメタゾンジプロピオン酸エステル				
	セフジニル									

報告年度・四半期	2019・第四	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	咽頭炎						口腔咽頭痛				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	トラネキサム酸	1500mg	20191227		経口	咽頭炎(咽 頭炎咽頭痛)		不明	薬疹（再投与なし ）		
	レボフロキサシン水和 物	500mg	20191227		経口	咽頭炎(咽 頭炎咽頭痛)		不明			
	L - カルボシステイン	1500mg	20191227		経口	咽頭炎(咽 頭炎咽頭痛)		不明			
副作用/有害事象 （発現日）	薬疹										
併用薬											

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	インフルエンザ										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg	20190308	20190312	経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明	多形紅斑（再投与 なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	L - カルボシステイン	1500mg	20190308	20190315	経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明	多形紅斑（再投与なし）	
	クロフェダノール塩酸塩/コルドリン	75mg	20190308	20190312	経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
	ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤/カフコデN	6{DF}	20190311	20190315	経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
副作用/有害事象（発現日）	多形紅斑(20190316)									
併用薬	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物					ジメモルファンリン酸塩				
	アンプロキシール塩酸塩					エピナスチン塩酸塩				
	ロキソプロフェンナトリウム水和物					d - クロルフェニラミンマレイン酸塩				
	ツロブテロール					デカリニウム塩化物				

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	口腔咽頭痛						扁桃炎				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アモキシシリン水和物 ・クラブラン酸カリウ ム/オーグメンチン		20190516	20190521	経口	口腔咽頭痛 (Orophary ngeal pain)、扁桃炎(Tonsillit is)		投与中止			
					不明						
	ロキソプロフェンナト リウム水和物/ロキソ プロフェン		20190516	20190521	経口	口腔咽頭痛 (Orophary ngeal pain)、扁桃炎(Tonsillit is)		投与中止			
					不明						
	トラネキサム酸		20190516	20190521	経口	口腔咽頭痛 (Orophary		投与中止			
					不明						

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						ngeal pain)、扁桃炎(Tonsillit is)				
副作用/有害事象 （発現日）	顔面浮腫(20190518)					紅斑(20190524)				
併用薬	プレドニゾロン									

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ゾピクロン/アモバン		不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明 の製品使用)		不明	ショック（再投与 なし）		
	ランソプラゾール	15mg	不明	不明	経口			不明	ショック（再投与 なし）		
	クエチアピンプマル酸 塩	100mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明 の製品使用)		不明	ショック（再投与 なし）		
	アリピプラゾール水和 物	400mg	不明		筋肉内	統合失調症 (統合失調 症)		投与量変更 せず	ショック（再投与 なし）		
	フルニトラゼパム	1mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明 の製品使用)		不明	ショック（再投与 なし）		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	プロメタジン塩酸塩	15mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	カルバマゼピン	600mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	トラネキサム酸	750mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	プロペリシアジン	15mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	アトモキセチン塩酸塩	80mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	ペロスピロン塩酸塩水和物	12mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	アセナピンマレイン酸塩	20mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
	メチルフェニデート塩酸塩	20mg	不明	不明	経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復	
原疾患等	統合失調症									
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アトモキセチン塩酸塩 /アトモキセチン	80mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	ランソプラゾール/タ ケブロン	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	クエチアピンフマル酸 塩/クエチアピン「V T R S」	100mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	アリピプラゾール水和 物/エビリファイ	400mg			筋肉内	統合失調症		投与量変更 せず		
	アセナピンマレイン酸 塩/シクレスト	20mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	ペロスピロン塩酸塩水 和物	12mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	フルニトラゼパム	1mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	ゾピクロン				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	プロメタジン塩酸塩/ ヒベルナ	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	カルバマゼピン	600mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	トラネキサム酸	750mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	プロペリシアジン/ニ ューレプチル	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
	メチルフェニデート塩 酸塩/リタリン	20mg			経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アトモキセチン塩酸塩 /ストラテラ		80mg	2017		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不		不明	ショック（不明）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
	アリピプラゾール水和物/エビリファイ	400mg	2017		筋肉内	統合失調症(統合失調症)		投与量変更せず		
	アセナピンマレイン酸塩/シクレスト	20mg	2018		経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
	クエチアピンフマル酸塩	100mg	2017		経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
	ペロスピロン塩酸塩水和物	12mg	2017		経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
	ランソプラゾール	15mg	2017		経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
	フルニトラゼパム	1mg	2017		経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の製品使用)		不明		
	ゾピクロン	7.5mg	2017		経口	適応症不明の製品使用(適応症不		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
	プロメタジン塩酸塩/ ヒベルナ	15mg	2017		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明		
	カルバマゼピン	600mg	2017		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明		
	トラネキサム酸	750mg	2018		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明		
	プロペリシアジン/ニ ューレプチル	15mg	2017		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明		
	メチルフェニデート塩 酸塩/リタリン	20mg	2017		経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	ショック(20190628)									
併用薬										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ランソプラゾール/タ ケブロン	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		不明			
	クエチアピンフマル酸 塩/クエチアピン	100mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		不明			
	アリピプラゾール水和 物/エビリファイ	400mg	2017		筋肉内	統合失調症 (統合失調 症)		投与量変更 せず			
	アセナピンマレイン酸 塩/シクレスト	20mg	2018		経口			不明			
	ペロスピロン塩酸塩水 和物	12mg	2017		経口			不明			
	フルニトラゼパム	1mg	2017		経口			不明			
	ゾピクロン		2017		経口			不明			
	プロメタジン塩酸塩/ ヒベルナ	15mg	2017		経口			不明			
	カルバマゼピン	600mg	2017		経口			不明			
	トラネキサム酸	750mg	2018		経口			不明			
	プロペリシアジン/ニ ューレプチル	15mg	2017		経口			不明			
	アトモキセチン塩酸塩	80mg	2017		経口			不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	メチルフェニデート塩酸塩/リタリン	20mg	2017		経口			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	副鼻腔炎						咽喉頭炎				
	アレルギー性鼻炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	デスロラタジン/デザ レックス	5mg	20190507	20190508	経口	アレルギー 性鼻炎(ア レルギー性 鼻炎)		投与中止	発疹（再投与なし ）		
	モンテルカストナトリ ウム/モンテルカスト	10mg	20180507	20180508	経口	アレルギー 性鼻炎(ア レルギー性 鼻炎)		投与中止	発疹（再投与なし ）		
	アンブロキシソール塩酸 塩	45mg	20180507	20180508	経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			
	テブレノン	4.5mg	20180507	20180508	経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			
	トラネキサム酸	750mg	20180507	20180508	経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			
	レボフロキサシン水和 物	500mg	20190507	20190508	経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			
副作用/有害事象 （発現日）	発疹(20180507)										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症						適応症不明の製品使用				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	アセナピンマレイン酸 塩/シクレスト	20mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			
	アリピプラゾール水和 物/エビリファイ				筋肉内	統合失調症 (統合失調 症)		投与量変更 せず			
	クエチアピンフマル酸 塩	100mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			
	ペロスピロン塩酸塩水 和物	12mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			
	ランソプラゾール	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			
	フルニトラゼパム	1mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	ゾピクロン	7.5mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	プロメタジン塩酸塩/ ヒベルナ	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	カルバマゼピン	600mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	トラネキサム酸	750mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	プロペリシアジン/ ニューレプチル	15mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	アトモセチン塩酸塩 /アトモセチン	80mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	メチルフェニデート塩 酸塩/リタリン	20mg			経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
副作用/有害事象 （発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ペロスピロン塩酸塩水 和物/ルーラン	12mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明	ショック（再投与 なし）		
	アリピプラゾール水和 物/エビリファイ	400mg	不明	不明	筋肉内	統合失調症 (Schizoph renia)		投与量変更 せず			
	アセナピンマレイン酸 塩/シクレスト	20mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明			
	クエチアピンプマル酸 塩	100mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	ランソプラゾール	15mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明		
	フルニトラゼパム	1mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明		
	ゾピクロン	7.5mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明		
	プロメタジン塩酸塩/ ヒベルナ	15mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明		
	カルバマゼピン	600mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product used for u nknown ind ication)		不明		
	トラネキサム酸	750mg	不明	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (Product		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						used for unknown indication)				
	プロペリシアジン/ニユーレプチル	15mg	不明	不明	経口	適応症不明の製品使用 (Product used for unknown indication)		不明		
	アトモセチン塩酸塩	80mg	不明	不明	経口	適応症不明の製品使用 (Product used for unknown indication)		不明		
	メチルフェニデート塩酸塩/リタリン	20mg	不明	不明	経口	適応症不明の製品使用 (Product used for unknown indication)		不明		
副作用/有害事象（発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ゾピクロン/アモバン		7.5mg	2017	不明	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不		不明	ショック（再投与 なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の薬剤使用)				
	アリピプラゾール水和物/エビリファイ	400mg	2017		筋肉内	統合失調症 (schizophrenia)		投与量変更せず	ショック（再投与なし）	
	クエチアピンフマル酸塩	100mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	ランソプラゾール	15mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	プロメタジン塩酸塩/ヒベルナ	15mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	カルバマゼピン	600mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	トラネキサム酸	750mg	2018	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	プロペリシアジン/ニユーレプチル	15mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不		不明	ショック（再投与なし）	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の薬剤使用)				
	アトモセチン塩酸塩	80mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明	ショック（再投与なし）	
	アセナピンマレイン酸塩/シクレスト	20mg	2018	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	ペロスピロン塩酸塩水和物	12mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	フルニトラゼパム	1mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	メチルフェニデート塩酸塩/リタリン	20mg	2017	不明	経口	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;消費者等			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	統合失調症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	クエチアピンフマル酸 塩/セロクエル	100mg	2017		経口(経口)	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明			
	アリピプラゾール水和 物/エビリファイ	400mg	2017		筋肉内(筋肉内)	統合失調症 (統合失調症)		不明			
	ペロスピロン塩酸塩水和物	12mg	2017		経口(経口)	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明			
	ランソプラゾール	15mg	2017		経口(経口)	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明			
	フルニトラゼパム	1mg	2017		経口(経口)	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明			
	ゾピクロン	7.5mg	2017		経口(経口)	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	アセナピンマレイン酸塩/シクレスト	20mg	2018		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	カルバマゼピン	600mg	2017		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	プロペリシアジン/ニューレプチル	15mg	2017		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	アトモキセチン塩酸塩/アトモキセチン	80mg	2017		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	メチルフェニデート塩酸塩/リタリン	20mg	2017		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	プロメタジン塩酸塩/ヒベルナ	15mg	2017		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不明の薬剤使用)		不明		
	トラネキサム酸	750mg	2018		経口(経口)	適応症不明の製品使用 (適応症不		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の薬剤使用)				
副作用/有害事象 （発現日）	ショック(20190628)									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第二	種類	自発報告	報告職種	医師;薬剤師		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別	女	年代	70歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	鼻出血					緑内障					
	骨粗鬆症										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	L - カルボシステイン			20190518	20190617	経口	鼻出血(鼻 出血)		投与中止		
	トラネキサム酸			20190518		経口			不明		
副作用/有害事象 (発現日)	皮膚粘膜眼症候群(20190621)										
併用薬	エストリオール					ドルゾラミド塩酸塩					
	タフルプロスト・チモロールマレイン酸塩										

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロキソプロフェンナトリウム水和物/オキミナス			不明	不明	不明			不明		
	アセトアミノフェン			不明	不明	不明			不明		
	L - カルボシステイン			不明	不明	不明			不明		
	トラネキサム酸			不明	不明	不明			不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群(不明)	
併用薬		

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	上咽頭炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン				経口	上咽頭炎(感冒疑い)		不明			
	トラネキサム酸				不明	上咽頭炎(感冒疑い)		不明			
	ロキソプロフェンナト リウム水和物/ロキソ プロフェン				経口	上咽頭炎(感冒疑い)					
	アセトアミノフェン				経口	上咽頭炎(感冒疑い)					
	118							不明			
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	β 溶血性レンサ球菌感染										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン				経口	β 溶血性レンサ球菌感染(β 溶血性レンサ球菌感染疑い)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						)				
	セフジニル				経口	β 溶血性レンサ球菌感染(β 溶血性レンサ球菌感染疑い)		不明		
	トラネキサム酸				不明	β 溶血性レンサ球菌感染(β 溶血性レンサ球菌感染疑い)		不明		
	118							不明		
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第一	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン				不明	適応症不明 の製品使用		不明			
	セフジニル				不明			不明			
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (DRUG U SE FOR UNKNOW N INDIC ATION)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群	
併用薬		

報告年度・四半期	2019・第一	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	L - カルボシステイン				不明	適応症不明 の製品使用		不明			
	アセトアミノフェン				不明	適応症不明 の製品使用 (DRUG U SE FOR UNKNOW N INDIC ATION)		不明			
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (DRUG U SE FOR UNKNOW N INDIC ATION)		不明			
	ロキソプロフェンナト リウム水和物/ロキソ プロフェンNa				不明	適応症不明 の製品使用 (DRUG U SE FOR UNKNOW N INDIC ATION)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	スティーヴンス・ジョンソン症候群							
併用薬								

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	上咽頭炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロキソプロフェンナトリウム水和物/ロキソプロフェンNa					経口			不明		
	アセトアミノフェン					経口			不明		
	L - カルボシステイン					経口			不明		
	トラネキサム酸					経口			不明		
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

報告年度・四半期	2019・第一	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アセトアミノフェン/ アンヒバ					不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明	ドライアイ（不明 ）、結膜瘢痕（不 明）、スティーヴ ンス・ジョンソン 症候群（不明）	
	ロキソプロフェンナト リウム水和物					不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使		不明	ドライアイ（不明 ）、結膜瘢痕（不 明）、スティーヴ ンス・ジョンソン	

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						用)			症候群（不明）	
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
	L - カルボシステイン				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
副作用/有害事象 （発現日）	ドライアイ					結膜瘢痕				
	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第一	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ロキソプロフェンナトリウム水和物				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ドライアイ（不明）、結膜瘢痕（不明）、スティーヴンス・ジョンソン症候群（不明）		
	アセトアミノフェン				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明	ドライアイ（不明）、結膜瘢痕（不明）、スティーヴンス・ジョンソン症候群（不明）		
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

						明の製品使用)				
	L - カルボシステイン				不明	適応症不明の製品使用 (適応症不明の製品使用)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	ドライアイ					結膜瘢痕				
	スティーヴンス・ジョンソン症候群									
併用薬										

報告年度・四半期	2019・第一	種類	試験	報告職種	医療関係者			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	セフジニル				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明	ドライアイ（不明 ）、結膜瘢痕（不 明）、スティーヴ ンス・ジョンソン 症候群（不明）		
	トラネキサム酸				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			
	L - カルボシステイン				不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の製品使 用)		不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	ドライアイ	結膜瘢痕
	スティーヴンス・ジョンソン症候群	
併用薬		

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了	
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	ロキソプロフェンナトリウム水和物/ロキソプロフェンNa				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	ロキソプロフェンナトリウム水和物/ロキソプロフェンNa				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	トラネキサム酸				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	トラネキサム酸				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	アセトアミノフェン					適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	L - カルボシステイン					適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2019・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	セフジニル				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	トラネキサム酸				経口	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
	L - カルボシステイン					適応症不明 の製品使用 (不明)		不明			
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	60歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	N S A I D増悪呼吸器疾患						副鼻腔炎				
	アルコール摂取										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロキソプロフェンナト リウム水和物		3{DF}			経口	上咽頭炎(かぜ)		不明		
	非ピリン系感冒剤（4 ）/P L					不明			不明		
	レバミピド					不明			不明		
	トラネキサム酸					不明			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	喘息(20190108)										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

併用薬	プレドニゾロン	ファモチジン
	d - クロルフェニラミンマレイン酸塩	

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	不明			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	上咽頭炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	アセトアミノフェン/ コカール					経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
	ロキソプロフェンナト リウム水和物/ロキソ プロフェンNa					経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
	L - カルボシステイン					経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
	トラネキサム酸					経口	上咽頭炎(感冒症状)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	スティーヴンス・ジョンソン症候群										
併用薬											

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	不明	年代	小児	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸/トラ ネキサム酸：シロップ					経口			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	胃潰瘍						メレナ				
	吐血										
併用薬											

症例一覽

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

70ページ

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	30歳代	身長	160cm台	体重	80kg台	転帰	回復	
原疾患等	末梢性浮腫 早産					深部静脈血栓症 遺伝性血管浮腫				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	乾燥濃縮人C 1 - イン アクチベーター/ペリ ナートP	1000[iU]	20170418	20170418	静脈内（ 明記され ていない 場合）	遺伝性血管 浮腫(HAE 発作治療）、遺伝性血 管浮腫(遺 伝性血管浮 腫を背景と する左下肢 の浮腫)		投与量変更 せず	深部静脈血栓症（ 無）、肺塞栓症（ 無）	
		1000[iU]	20170522	20170522	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170526	20170526	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170530	20170530	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170603	20170603	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170607	20170607	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170611	20170611	静脈内（ 明記され ていない					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

					場合)					
		1000[iU]	20170615	20170615	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170619	20170619	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170623	20170623	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170627	20170627	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170422	20170422	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170702	20170702	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170706	20170706	静脈内（ 明記されて いない 場合）					
		1000[iU]	20170707	20170707	静脈内（ 明記されて いない 場合）					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

		1000[iU]	20170709	20170709	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170713	20170713	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170717	20170717	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170721	20170721	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170724	20170724	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170728	20170728	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170802	20170802	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170427	20170427	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170805	20170805	静脈内（					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

					明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170809	20170809	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170814	20170814	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170818	20170818	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170822	20170822	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170827	20170827	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170903	20170903	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170907	20170907	静脈内（明記されていない場合)					
		1000[iU]	20170914	20170914	静脈内（明記され					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

					ていない 場合)					
		1000[iU]	20171002	20171002	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170430	20170430	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20171013	20171013	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20171025	20171025	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20171026	20171026	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		2{DF}	20171017	20171017	静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	201603		静脈内（ 明記され ていない 場合）					
		1000[iU]	20170504	20170504	静脈内（ 明記され ていない					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

75ページ

					場合)					
		1000[iU]	20170508	20170508	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170511	20170511	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170514	20170514	静脈内（明記されていない場合）					
		1000[iU]	20170518	20170518	静脈内（明記されていない場合）					
	トラネキサム酸	500mg		20171027	経口	遺伝性血管浮腫(HAE発作治療)、予防(HAE発作予防)		投与中止	深部静脈血栓症（無）、肺塞栓症（無）	
副作用/有害事象 （発現日）	深部静脈血栓症(20171027)					肺塞栓症(20171027)				
併用薬	大建中湯					トラネキサム酸				

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師;薬剤師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	副鼻腔炎					うつ病					

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

76ページ

被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トスフロキサシントシル酸塩水和物	150mg	20190124	20190125	経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	エシタロプラムシュウ酸塩/レクサプロ	10mg	20190124	20190125	経口	うつ病(うつ状態)		投与中止		
	メコバラミン	500ug	20190118		経口			不明		
	トラネキサム酸	500mg	20190124		経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与量変更せず		
	酪酸菌配合剤/ビオスリー	1{DF}	20190124		経口			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	失神(20190125)					痙攣発作(20190125)				
併用薬										

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	10歳未満	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	中耳炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	テビペネム ピボキシ ル/オラペネム				経口	中耳炎(中 耳炎)		不明			
	Ｌ－カルボシステイン				経口			不明			
	アンプロキシソール塩酸 塩				不明			不明			
	トラネキサム酸				経口			不明			
	プロバイオティクス（ 宮入菌）				経口			不明			
	ツロブテロール				経皮			不明			
	シプロヘプタジン塩酸 塩水和物				経口			不明			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	低カルニチン血症							
併用薬								

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	副鼻腔炎						自己免疫性肝炎				
	原発性胆汁性胆管炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	オロパタジン塩酸塩					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	辛夷清肺湯					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	トラネキサム酸					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	薬物性肝障害										
併用薬											

報告年度・四半期	2018・第四	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	副鼻腔炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	オロパタジン塩酸塩				経口	薬物性肝障 害(薬物性 肝障害)		投与中止			
	辛夷清肺湯				経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			
	トラネキサム酸				経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	薬物性肝障害									
併用薬										

報告年度・四半期	2018・第二	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	60歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	口腔咽頭痛										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg	20180707	20180710	経口	口腔咽頭痛 (のどの痛み)		不明		
副作用/有害事象 (発現日)	薬疹(20180707)										
併用薬	アルファカルシドール					バゼドキシフェン酢酸塩					

報告年度・四半期	2018・第二	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	60歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	大腿骨頸部骨折					高血圧					
	うつ病										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロクロニウム臭化物		50mg	20180629	20180629	静脈内（ 明記され ていない 場合）	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		不明		
	フェンタニルクエン酸 塩		14mL	20180629	20180629	静脈内（ 明記され ていない 場合）	適応症不明 の製品使用 (不明)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物/アドナ	100mg	20180629	20180629	静脈内（明記されていない場合）	適応症不明の製品使用（不明）		不明		
	トラネキサム酸	250mg	20180629	20180629	静脈内（明記されていない場合）	適応症不明の製品使用（不明）		不明		
	レミフェンタニル塩酸塩/アルチバ	2mg	20180629	20180629	静脈内（明記されていない場合）	適応症不明の製品使用（不明）		不明		
	セフォチアム塩酸塩	2g	20180629	20180629	静脈内（明記されていない場合）	適応症不明の製品使用（不明）		不明		
副作用/有害事象（発現日）	血圧低下(20180629)									
併用薬	セボフルラン					ラニチジン塩酸塩				

報告年度・四半期	2018・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	副鼻腔炎					慢性肝炎					
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	オロパタジン塩酸塩					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	トラネキサム酸					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	辛夷清肺湯					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	薬物性肝障害									
併用薬										

報告年度・四半期	2018・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等											
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	辛夷清肺湯/ツムラ辛夷清肺湯エキス顆粒（医療用）					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	トラネキサム酸					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	オロパタジン塩酸塩					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
副作用/有害事象 （発現日）	薬物性肝障害										
併用薬											

報告年度・四半期	2018・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	副鼻腔炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	オロパタジン塩酸塩					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	辛夷清肺湯					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		
	トラネキサム酸					経口	副鼻腔炎(副鼻腔炎)		投与中止		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 （発現日）	急性膵炎	薬物性肝障害
	自己免疫性肝炎	
併用薬		

報告年度・四半期	2018・第三	種類	試験	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	20歳代	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	肺結核						肺空洞形成				
	言語障害						不眠症				
	そう痒症						入院				
	発育遅延										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	レボセチリジン塩酸塩 /ザイザル	5mg	20171214		経口	そう痒症(Pruritus)		不明			
	レボフロキサシン水和 物	500mg	20171110	20180323	経口			投与中止			
	ランソプラゾール	15mg	20171214		経口			不明			
	催眠鎮静剤，抗不安剤 （一般薬）/ナイトー ル		20171218		局所	そう痒症(Pruritus)		不明			
	メトクロプラミド	5mg	20171219		経口	悪心(Naus ea)、嘔吐(Vomiting)		非該当			
					不明						
	ドンペリドン	10mg	20180215		経口			不明			
	クエチアピンフマル酸 塩	25mg	20180115		経口	落ち着きの なさ(Rest lessness) 、不眠症(Insomnia)		不明			
					経口						
	レバミピド/ムコスタ	100mg	20171110		経口			不明			
	エタンブトール塩酸塩	750mg	20171110		経口	結核(Tube rculosis)		非該当			

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	カナマイシン硫酸塩	750mg	20171110	20180323	筋肉内	結核(Tuberculosis)		投与中止		
	サイクロセリン	500mg	20171114	20171218	経口	結核(Tuberculosis)		投与中止		
	エチオナミド	200mg	20171114	20171218	経口	結核(Tuberculosis)		投与中止		
		500mg	20171227	20180323	経口					
	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	90mg	20171115		経口			非該当		
	トラネキサム酸	750mg	20171115		経口			非該当		
	鎮咳配合剤（１）/フスコデ	3mg	20171124		経口			非該当		
	ロキソプロフェンナトリウム水和物	60mg	20171129		経口			非該当		
	リネゾリド	600mg	20171204	20180306	経口	結核(Tuberculosis)		投与中止		
	デラマニド/デルティバ	200mg	20171206	20180323	経口	肺結核(multidrug resistant Pulmonary tuberculosis)		投与中止		
	プロチゾラム	0.25mg	20171210		経口			非該当		
	小青竜湯	9g	20180101		経口			非該当		
	ラメルテオン	8mg	20180111		経口			非該当		
	ヘパリン類似物質		20180206		局所			不明		
副作用/有害事象 （発現日）	汎血球減少症(20180302)									
併用薬										

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

報告年度・四半期	2018・第三	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長		体重		転帰	不明		
原疾患等	胃癌						線溶亢進				
	播種性血管内凝固						終末期状態				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名	一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価	
	トラネキサム酸	1.5g			経口	播種性血管 内凝固(線 溶亢進型D IC)		不明			
	トラネキサム酸	1.5g			経口	播種性血管 内凝固(線 溶亢進型D IC)		不明			
副作用/有害事象 (発現日)	脳梗塞										
併用薬	ヘパリンナトリウム										

報告年度・四半期	2018・第三	種類	試験	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	男	年代	不明	身長		体重		転帰	軽快		
原疾患等	肺結核						結核				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	ロキソプロフェンナト リウム水和物/ロキソ マリン		60mg	20171129	20180208	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		非該当		
	プロチゾラム/ソレン トミン		0.25mg	20171210	20180118	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		非該当		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	クエチアピンフマル酸塩/クエチアピン				経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)、不眠症(不眠症)、落ち着きのなさ(不穏（主に真夜中）)		投与中止		
		25mg	20180115	20180323	経口					
	ドンペリドン	10mg	20180215	20180323		適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)		投与中止		
	カナマイシン硫酸塩	750mg	20171110	20180323	筋肉内	結核(結核)		投与中止		
	エチオナミド	200mg	20171114	20171218	経口	結核(結核)		投与中止		
		500mg	20171227	20180323	経口					
	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	90mg	20171115	20180124	経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)		非該当		
	トラネキサム酸	750mg	20171115	20180124	経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)		非該当		
	鎮咳配合剤（１）/フスコデ	3mg	20171124	20180123	経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)		非該当		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	ランソプラゾール	15mg	20171214	20180323	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		投与中止		
	レボセチリジン塩酸塩	5mg	20171214	20180323	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)、そう 痒症(皮膚 そう痒症)		投与中止		
	ジフェンヒドラミン	1%	20171218	20180323	不明	そう痒症(皮膚そう痒 症)		投与中止		
	メトクロプラミド	5mg	20171219	20180213	経口	嘔吐(嘔吐) 、悪心(悪 心)		非該当		
	小青竜湯	9g	20180101	20180118	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		非該当		
	ラメルテオン	8mg	20180111	20180118	経口	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		非該当		
	ヘパリン類似物質	0.3%	20180206	20180323	不明	適応症不明 の製品使用 (適応症不 明の薬剤使 用)		投与中止		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

	デラマニド/デルティバ	200mg	20171206	20180323	経口	肺結核(多剤耐性肺結核)		投与中止		
	レバミピド/ムコスタ	100mg	20171110	20180323	経口	適応症不明の製品使用(適応症不明の薬剤使用)		投与中止		
	サイクロセリン	500mg	20171114	20171218	経口	結核(結核)		非該当		
	リネゾリド	600mg	20171204	20180306	経口	結核(結核)		投与中止		
	エタンブトール塩酸塩	750mg	20171110	20171207	経口	結核(結核)		非該当		
	レボフロキサシン水和物	500mg	20171110	20180323	経口	結核(結核)		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	汎血球減少症(20180302)									
併用薬										

報告年度・四半期	2018・第一	種類	自発報告	報告職種	医師		報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	回復	
原疾患等	リンパ節炎					季節性アレルギー				
被疑薬に関する情報	一般名/販売名	一回投与量	投与開始日	投与終了日	投与経路	適用理由	要指導/リスク区分	被疑薬の処置	再投与による再発の有無	評価
	レボフロキサシン水和物	500mg	20180525	20180525	経口	リンパ節炎(リンパ節炎)		投与中止	アナフィラキシー反応(再投与なし)	
	ビフィズス菌製剤(5)/ビオフェルミン	1{DF}	20180525	20180525	経口	予防(抗生物質副作用予防)		不明		
	トラネキサム酸	1500mg	20180525	20180525	経口	リンパ節炎(リンパ節炎)		不明		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

87ページ

副作用/有害事象 （発現日）	アナフィラキシー反応(20180525)									
併用薬										

報告年度・四半期	2018・第一	種類	自発報告	報告職種	薬剤師			報告分類	医療機関報告	状況	調査完了
性別	男	年代	70歳代	身長	160cm台	体重	60kg台	転帰	軽快		
原疾患等	深部静脈血栓症						タバコ使用者				
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		750mg	20171206	20180416	経口	硬膜下血腫 (慢性硬膜 下血腫)		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	深部静脈血栓症(201804)										
併用薬	五苓散						ウルソデオキシコール酸				
	チオトロピウム臭化物水和物										

報告年度・四半期	2018・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	20歳代	身長		体重		転帰	回復		
原疾患等	扁桃周囲炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	セフジトレン　ピボキ シル/メイアクト		100mg	20180324	20180331	経口	扁桃周囲炎 (扁桃周囲 炎)		投与中止		
	クリンダマイシンリン 酸エステル/クリンダ マイシン		1200mg	20180322	20180322	静脈内点 滴	扁桃周囲炎 (扁桃周囲 炎)		投与中止		
	トラネキサム酸		250mg	20180322	20180331	経口	扁桃周囲炎 (扁桃周囲 炎)		投与中止		

症例一覧

被疑薬：トラネキサム酸 内用薬、販売名トラネキサム酸で絞込み（部分一致）

印刷日：2024年05月17日

副作用/有害事象 (発現日)	湿疹(20180331)										
併用薬											

報告年度・四半期	2018・第一	種類	自発報告	報告職種	医師			報告分類	企業報告	状況	調査完了
性別	女	年代	40歳代	身長	140cm台	体重	40kg台	転帰	回復		
原疾患等	副鼻腔炎										
被疑薬に関する 情報	一般名/販売名		一回 投与量	投与 開始日	投与 終了日	投与経路	適用理由	要指導/ リスク区分	被疑薬の 処置	再投与による 再発の有無	評価
	トラネキサム酸		500mg	20180406	20180420	経口	副鼻腔炎		投与中止		
副作用/有害事象 (発現日)	薬物性肝障害(20180417)										
併用被疑薬											
併用薬	辛夷清肺湯						オロパタジン塩酸塩				